

# 大造じいさんとガン

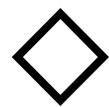
作品を自分なりにとらえ、朗読しよう

(8時間)

◎ 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすることができる。

○ 優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。





大造じいさんとガン

だいぞう

椋 むく

鳩十 はとじゅう

作 さく

金子 かねこ

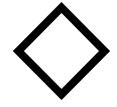
恵 めぐみ

絵 え



(P.107~110)

第二場面  
だい に ば めん



大造じいさんとガン  
だいぞう



○ お話の登場人物  
はなし どうじょうじんぶつ

・ 大造じいさん

○ お話の時期  
じき

・ 翌年  
よくとし



第一場面の次の年  
だいいちばめん つぎ とし



○ お話の場所  
ばしよ

・ 栗野岳のふもとのぬま地  
くりのだけ





大造じいさんは、こんど今度はどの  
さくせんたような作戦を立てたのだろう。

- ① タニシをごひょう五俵ばかりあつ集める。
- ② 集めたタニシをガンのこの好みばのような場所しよに  
四、五日つづ続けてばらまく。
- ③ ガンのおき気いに入りの場所こになつたところ  
で、夜よるのあいだ間にこ小さな小屋やをつつく作る。
- ④ ガンの群むれをりようじゆうでうつ。

たにし



田んぼなどにすむまき貝がいの種類しゅるいの一つひと。  
三センチメートルくらいちやいろの大きさで、黒くろ  
茶色ちやいろをしている。食たべられる。

大造じいさんは、今度ほどの  
さくせん た  
ような作戦を立てたのだろう。

- ① タニシを五俵ばかり集める。  
ごひょう あつ
- ② 集めたタニシをガンの好みそうな場所に  
この ば しょ  
四、五日続けてばらまく。  
つづ
- ③ ガンのお気に入りの場所になったところ  
き い  
で、夜の間に小さな小屋を作る。  
よる あいだ こや つく
- ④ ガンの群れをりようじゆうでうつ。  
む

作戦は…

もう少しでたまのとどくきより  
に入ってくる、というところ  
で、またしても、残雪のために  
してやられてしまいました。

失  
敗

成  
功

大造じいさんとガン

第二場面

名前

またガンをとれなかつた大造じいさん  
は、ひろ広いちぬま地むの向こうを見て、み何を思  
っているだろう。

